

【プログラム4：発想の転換 ～逆転の発想で考えよう～】

☆ねらい：いつもと違う方向から物事を考えたり見たりすることを通して、多様性に対する開かれた考えをもち、自尊感情を高めたり、友達とのかかわりの輪を広げようとしたりする。

《プログラムの概要》

キーワードの例	多様な考え方
時 間	25分
人 数	何人でもできる。
活動形態	グループ（1グループは4～6名がよい）
準備物	「こんなとき あなたは？」シート（グループ数）、ワークシート（人数分）
主な活動	①「こんなとき あなたは？」を通して考える。 ②逆転の発想を知り、その方法で考える。 ③グループで考えたことや感想等を全体に紹介する。
気を付けること	○逆転の発想を知ることと同時に、自分のことも考えていこうとすることが大事であることを、進行役が理解し、進行の中で生徒に伝える。 ○「自分の気になるところ」を考えることに抵抗がある場合は、自分のこと以外で考えてもよいこととすると、抵抗感が少なくなる。 ○逆転の発想で考えようとするのが大事なことで、その答えの正誤だけにとらわれすぎないようにする。
備 考	○どの学年においても活用できる。
学習指導要領 特別活動との関連	【高等学校 ホームルーム活動】内容（2）アイク 【中学校 学級活動《現》】内容（2）アイオキ 【中学校 学級活動《新》】内容（2）アウ （3）イ